

龍谷顕真会会報

も く じ

第4回海外視察(バンコク)写真グラフ	2
海外視察レポート	3～6
平成9年度 会員活動報告	7～10
平成9年度 総会報告、世話人会報告	10



特集 バンコク視察

第4回海外視察団の一行。タイのエメラルド寺院で

☆：「イノベーション」（変革）をテーマに修行される蓮如上人五百回遠忌法要まであと七ヵ月余り。本山もあわただしくなってきた。この法要は宗門人の一人ひとりが蓮如上人のお心を体し、イノベーター（変革者）となつて、21世紀の宗門づくりに取り組む契機とするもの。心してお迎えしたい。

☆：神戸の中学三年生の少年による児童殺傷事件は、日本中を震撼させた。「少年の家庭にはお仏壇はなかっただろう。もしあったなら、あのような事件は起こっていない」とは、ある僧侶の感想。そうであったかもしれない。少年の特異なパーソナリティーが事件の原因とする主張も根強くあるが、現代という時代がその背景にあることを重く受けとめなくてはならない。念仏者としても。

☆：龍谷顕真会の海外視察も10月に実施するアメリカ西海岸で五回目となる。最初は実施すらあやぶまれたが、今では本会の事業としてすっかり定着したようだ。ご門徒の参加者が「行儀の悪い日本人旅行者が多い中で、顕真会の団体はまじめでなごやか。これからも参加したい」と語っていた。会員だけでなく幅広い方々にご参加を頂きたい。10年後の日本の状況が今のアメリカとか。ぜひご参加を。

写真グラフ



タイ国王宮広場で



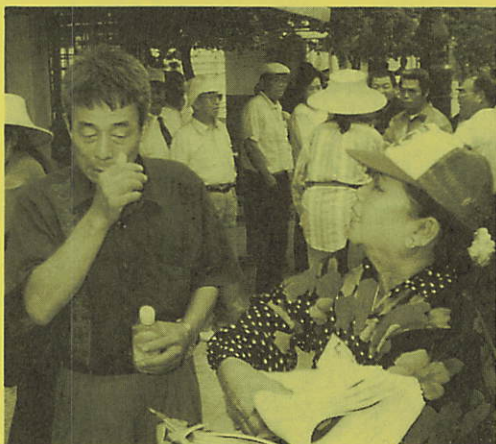
王宮の門番、ガルダ像



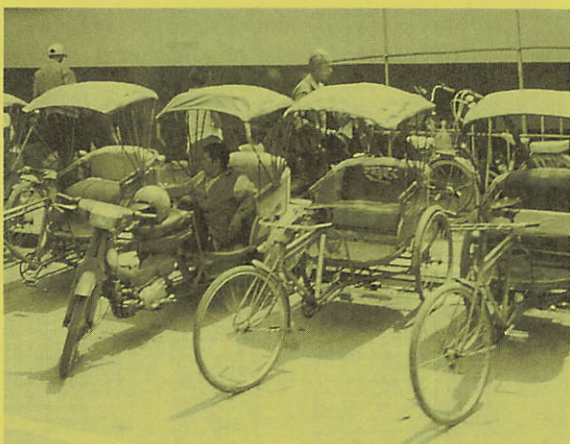
黄金の涅槃仏の前で



寺院は大きくて、きらびやか



おばちゃんにタジタジ。負けたワ



天下御免の人力車。とにかく速い

〈海外視察レポート〉

バンコクの発展とその一方で

平成8年度の海外視察はエキゾチックな南国、タイの首都バンコクへ。10月15日から18日までの4日間の日程で参加者は会員、寺族、門徒あわせて24人。王宮の観光をはじめ、数ある小乗仏教の寺院や遺跡を訪れた。なかでも、国立の児童障害者福祉施設の視察は参加者一同大きな衝撃を受けた。また、仏教国に暮らす人々の生活と、急激な都市化の進む国の発展ぶりの一方で、繁栄に取り残された人たちの悲惨な現状。参加者にはそれぞれに感慨深い視察となった。ここに参加者のレポートを掲載して、海外視察の報告としたい。

大ざっぱな喧騒の街

三重県東員町議 山田 真澄

龍谷顕真会の外国視察旅行の四回目の行き先が、タイ国との連絡を受けた。

私のような戦前の教育を叩き込まれたものにとってタイ国は、王様の国シャム、山田長政が象の大部隊で活躍した地というイメージが強い。

さっそく、参加を申し込もうとしたら、老妻（坊守）も強硬に同行を申し出た。「私の身を案じた」というよりは、結婚後四十年近くほったらかされた恨みを晴らすのが目的らしい。逆らえずにこの要求を入れることにした。

十月十五日、関西国際空港を出発し、バン

コクに到着後、福岡出発の会員と合流。バスでチャオプラヤ河畔のロイヤル・オーキッド・シェラトンホテルに直行した。以下、地方議員として見たバンコクの印象を述べてみたい。空港を出て高速道路（現在33km供用中）に乗ったとたん目の下に見たのは莫大な数の古エンジンであった。後で聞くと、日本などから中古車をくず鉄並みで買入れ、解体、組み立てて走らせるとのこと。事実、ボンネット型のトラックが走り回っていた。

ホテルの窓の下が、タイ北部の有名なチェンマイ方面から流れるチャオプラヤ河だが、水だけでなく人間も豊かさを求めて北部農村地帯からバンコクへ流入している。タイ人口六千万人、うちバンコクは六百万人に達する大都市であった。ホテルの真下が渡船場で、

暗いうちから三、四隻の流し船が、休む間もなく往来し、溢れんばかりの人々を乗せて西部から都心部へ向う。朝食をどうするのかと思っていたが、街路の両側には無数の屋台があり、食べるにこと欠かない。ただその実、ガイドに言わせると食器に前の人の食べ物の匂いが残っているというものである。住まいは川を越える水管橋の下にも、出来たばかりの高速道インターの下にもトタンで囲ったマイ・ハウスが多くみられた。考えてみれば、寒さ対策は不要の地であった。



象の乗りごこちは快適そう

予定していた水上市場見学が増水により中止となった。バスで移動中、大通りの路肩に土のうが積み上げられ、その向うは泥水があふれていた。現地の新聞を見たら（文字は全然読めない）小さく写真入りの記事があった。もし京都の加茂川が氾濫となると、テレビ、新聞は連日大騒ぎになると思えば、無関心なものであった。国民性なのか、日本がヒマなのか考えさせられた。

王宮を訪れたときを含め、ガイドからたびたび国王のことを聞いたので、つい日本の天皇を思い出した。私にとって天皇は奉安殿（学校にあった天皇の写真を入れておく厳重な庫）であり、学校長のモーニング、白手袋、直立不動の姿勢にすぎなかった。ガイドは親しみ、敬い、愛を込めて誇らしげにその姿を語りかけていた。

終わりに、これまで述べたようにタイの人々はすさまじいバイタリティーで前進している。決して後進国、発展途上国とみてはいけなさと感じた。川の向うには八十階を超えるホテルが建設中であり、四方八方に高層ビルの新築ラッシュの国であった。

明暗の国を旅して

広島県湯来町議 桜井 賢三

平成八年十月十五日より三泊四日の旅に参加させていただき、ただ感謝するばかりです。関西空港より、わずか四時間で到着。機内は美人スチュワーデスの大サービスで、ビール、酒、ワイン、水割り。次から次へと、もう少しいかがですか？ほろ酔いかげんでもう到着。飛行機の揺れは全くなく、一万メートルの雲の上をすべるように……昔では考えられない。時速六百キロでアジアの国に行けるとはまるで夢の様です。広島島の呉に三年間居住したことがあるという流暢な日本語を話す通訳氏の案内で、ロイヤル・オーキッド・シェラトン



「物売りは、したたかです」

ホテルに三晩宿泊、熟睡。翌日より、王宮、エメラルド寺院、暁の寺院、黄金大仏寺院、涅槃寺、大理石寺院、等々、実に立派な目を見張る建築物を見学。古代の人々の努力、小乗仏教の力をうかがい知ることができました。このたびの旅行で特に印象に残ったことは児童障害者の福祉施設でした。生まれながらに重度の障害があり、ごみ箱の中に捨てられていたという子供もいました。思わず涙が出るのを禁じることが出来ませんでした。本当に可愛想な子供達です。現在、百人収容されていると聞かされました。

日本では子供五人に保母が一人付き添うのだそうですが、ここでは子供二十人に一人の保母が付くということで、限界を越えた重労働です。それ故、手が行き届かず、結核、子供たちにしわ寄せされていることになりました。とにかく貧富の差が極端にひどいと思いました。

戦後日本にも屋根の低いトタン葺きのバラック建ての家がありました。バンコクにもいまだ沢山そうした家が見受けられました。タイ王国の首都であり、人口六百万人の大都会で三百余りの仏教寺院があり、高層ビル、地震のない国だということで二十階建て三十階建てのビルが雨後の竹の子の様に建ち並び、まさに建設ラッシュ。それも外国資本によって成されていると聞きました。だから凄まじいホコリで活気に満ちあふれています。

日本の企業も沢山進出しています。この調子だと日本は益々空洞化し、日本は追い越されるかも？恐怖と脅威を強く感じました。巷には露店の焼鳥屋がもうもうと舞うホコリの中で平気で営業していました。車の洪水です。ベンツから日本ではめったに見られない様なボンコツ車まで我がもの顔でまかり通っていました。そのほとんどが日本製のものばかりです。中でもミニ、三輪タクシー、バイク、タクシーが沢山いるのには驚きました。どこそこまで、と客が指示すると、ハイと後の席に乗せず出発、渋滞も何のその、速く目的地に着くので人気があるとのこと。もし事故死したら、保険は？と聞くと五万円だそうです。惜しくも前日大雨が降ったとかで水上マーケットは見ることができませんでした。観光地には必ずみやげ店があり、押売りする者がたむろし、買ってくれ、買ってくれと強引につきまとう。うるさいので私も絵はぎを日本円の二千円で買うことにし、一万円札を出したところ、八千円を外貨紙幣を束ねて、「はい、これ釣り、お釣り」と渡すので確かにあるものとはかり思い、バスに乗ってガイドさんに見てもらったら、日本円にして二千円。「あなた、だまされた」と笑うのです。ここで今後バンコクに旅行される方に忠告します。日本円で千円札を沢山持って行くことです。いくらでも日本円が使えます。でな

いとごまかされます。決して善人ばかりはいません。

人を見たら泥棒と思え、とは何か寂しい気持ちになりますが、海外旅行をするには、ぼーっとしていたらいかれるということはこの度の旅行で痛感致しました。「百聞は一見にしかず」。この度私が同伴した方は八十歳を越えた方でひやひや致しましたが、若い者よりいつも速く歩かれ、元気に帰国出来たことを嬉しく思っています。会長さんをはじめ広報部の皆様、特に同行して下さいました長上さん、会員の皆様、本当に有難うございました。感謝しています。

障害児の施設を訪問

滋賀県山東町議 梅津 正純

タイ国では、十月というのに炎天下で汗ばむ日が続く。バスで三十分余り、三菱レイヨン駐在員の二階堂迪宏氏の案内で国立の障害児童養護施設の視察をさせて頂いた。

手入れの行き届いた樹木に囲まれた鉄筋の建物であった。土間続きの建物の入口で、十数名の小学生くらいのも、あまり明るい感じはしないが元氣な瞳が私たちを迎えてくれた。持参した菓子に恐る恐る手を伸ばす子。人の

分までひったくる子などさまざま。中に入ると重度の障害児がベッドに寝かされている。床にころがっているだけの子もいる。何もできない。保母さんが食事を一口ずつ口に入れている。鼻中食の子もいる。奥の部屋に入る。超重度の子が横たえられている。ただ呼吸をし、心臓だけが活動しているだけ、眼もうつろ。こんな子たちばかり十数人いたのだろうか。思わず手を合わせ「がんばって」と、懸命に生きるいのちに小さく声をかける。保母さんたちの献身的な介護、支援に頭が下がる。この施設の子は、すべてが孤児。しかも年々増える傾向にあるという。

生活の貧困さ、薬害、エイズもあるという。



古典舞踊のダンサーと

ここタイ国の貧富の差、底辺の教育力の不足が原因となってゴミ箱やトイレが子供の捨て場にもなっているとか。そして、その後始末が施設に回される。明年から中学校の義務教育化が実施されるそう。それにしても障害の重さ、大きさは驚きと疑問につながる。将来への夢・希望が託せなくてもいいのものはつなされている。

しかし、こうした貧困の人々でありながら、あの阪神大震災の義援金を集めて送って下さったことを聞き、その心の暖かさ、人を思いやるやさしさに敬服し、感動を覚えた。

施設職員の給料も待遇も良いとは言えないそう。そうであっても、一人ひとりの心のやさしさ、人命尊重に徹したボランティア精神が支えとなっている。

豊かさの頂点にある私たち日本人は、何らかの形で援助、ボランティアを行わなくてはならない。「何かしたいな」と口々に言いながら施設を後にした。

反省点は多々あれど

事務局 長上 哲也

今回の海外視察は、江戸初期からの友好国であり、山田長政ゆかりのインドシナ半島の

中央部を占め、東南アジアにおける要衝であり、国際機関等も多く置かれている仏教国（国民の九十五％が敬虔な仏教徒）のタイ王国（バンコク）へ、十月十五日から三泊四日の日程で行なわれた。

十六日に見学及び参拝した王宮・エメラルド寺院は敷地が七万坪もある。また、十七日に参拝をした黄金大仏寺院の大仏は五十五トンもの金箔を使用、涅槃寺の涅槃仏は高さ四十六メートル、仏舍利塔は高さ百二十メートルと、すべての面でスケールの大きさに驚嘆をした次第である。

さらに、会員の藤谷山口県会議員の友人（タイ国三菱レイヨン社長二階堂迪宏氏）のご尽力により視察が実現した国立・児童障害者施設は、普通では視察できないところである。収容されている児童は、エイズ、麻薬中毒、各種の薬害の障害等の先天的遺伝によるもので、手足、頭の障害（手のひじ・足の膝がまがらない、小頭・顔の奇形等）をはじめ、全身に障害が出ている。参加者一同はひどく衝撃を受け、改めてエイズ、麻薬、薬害等の怖さを実感した次第である。特に、現在タイ国ではエイズが蔓延しており、日本の約半分の人口に患者及び感染者が約八十万。アジアで最悪の状態であり、国を挙げて予防・治療に取り組んでいるとのことであった。

さらに、十六日午後に予定していた市庁舎

訪問は先方の都合により、また、国会の見学は閉会中のため中止になった。このことは非常に残念で、事前の情報収集のまずさを反省するとともに、参加者の皆様にお詫びしたい。

現在のバンコクは、一年半後のアジア大会に向けてホテル、マンションの建築ブーム。街中が活気に溢れている。その超近代的なビル群と屋台街、そして隣接するブラック造りのスラム街が広がっているが、それがまた違和感もなく、生活感溢れた街であるとの印象を強く受けた。

今回の視察については、参加者の平均年齢が六十三・八歳と高く（最高年齢八十歳）、しかも平均気温が三十三度という国なので、参加者の病気等心配があったが、全員無事帰国しましたことを報告してタイ国視察報告といたします。



タイの暑さにヤレヤレ

平成九年度 活動報告書

会員42人のうち、30人から活動報告書の提出がありました。なお、首長は①欄が空白になります。

- ① 所属委員会
- ② 本年度取り組んでいる事柄
- ③ 今後取り組みたい課題
- ④ 抱負・モットーなど

楯 大亮

北海道 南富良野町長 7期
北海道・上川南・玄正寺住職

- ①
- ②
- ③
- ④

桜田 正弘

北海道 北見市議 7期
北海道・北見東・本覚寺衆徒

- ① 産業経済常任委員会
- ② ◇中心商店街の活性化対策 ◇観光資源

の開発

- ③ ◇行政改革 ◇青少年問題 ◇少子化対策
- ④ 継続は力なり

柴田 薫心

北海道 札幌市議 5期
北海道・札幌・宝流寺住職

- ① 議長
- ② 二〇〇二年ワールドサッカーに向けての全天候型スタジアムの建設
- ③ 交通対策と雪対策
- ④

萱森 真雄

秋田県 横手市議 2期
東北・秋田・専光寺衆徒

- ① 経済常任委員会
- ② 寒冷地における高齢者対策
- ③ 少子化、高齢者対策
- ④

花本 肇正

富山県 大島町議 5期
高岡・射水・称念寺住職

文教厚生常任委員会

- ② ◇議会運営について ◇広報紙発行について
- ③ ◇住民のニーズと対応策について ◇将来展望に立った市町村合併推進について
- ④ 信頼と信念

嶋田 政憲

福井県 勝山市議 4期
福井・福井・本覚寺衆徒

- ① 建設企業委員会
- ② ◇市民に信頼される議会 ◇道路網の整備
- ③ ◇青少年の心の教育問題 ◇少子化対策
- ④ 誠実に市民の負託に応える

横山 善道

岐阜県 伊自良村議 1期
岐阜・黒野・金證寺住職

- ① 産業建設常任委員会
- ② ◇農業集落排水事業 ◇教育問題
- ③ 「文化の里」整備について
- ④ 誇りのもてる地域づくり

山田 真澄

三重県 東員町議 10期
東海・員弁・浄源寺住職

- ① ◇教育民生常任委員長 ◇議会運営委員会
- ② ◇広報編集委員会

④ ③

北川 真道

滋賀県 秦荘町長 3期
滋賀・愛知上・浄甫寺

①

②

◇総合福祉センター建設 ◇特別養護老人ホーム建設

③

スポーツ振興

黒田 昭信

滋賀県議 2期
滋賀・犬上南・教得寺住職

①

◇文教警察常任委員会 ◇行政・地方分権特別委員会

②

◇環境・水質・行政等、県民の安心できる滋賀をつくる ◇行財政問題

③

◇市町村財政問題 ◇教育問題

④

不言実行。行政が企画力、推進に努力するよう助言する

梅津 正純

滋賀県 山東町議 2期
滋賀・山東・宝安寺住職

①

◇厚生常任委員会 ◇運営委員会 ◇公報委員会

②

◇国民健康保険・老人保険の負担金について、町持ち出し負担の割合

◇老人の医療対策、デイサービス、介護

について

◇保健センター、図書館、文化ホール等の複合施設建設について

③

老人医療対策とデイサービスの向上について

④

老人対策と少子化に対して、いかなる方策をたてるか

西殿 香連

和歌山市議 10期
和歌山・和歌山・西正寺住職

①

経済労働部

②

紀淡海峡連絡道路建設促進

③

右と同じ

和田 秀教

和歌山市議 6期
和歌山・和歌山北・正光寺衆徒

①

建設消防・環境委員会

②

活力を与える為に全国大会を開催していく(スポーツ、文化、芸術、医学、教育、福祉、見本市、その他)

③

右と同じ

④

子や孫の時代から本市に生れ、育って、住んで良かったと思われる街づくり

永原 智徳

和歌山県 由良町議 3期
和歌山・日高・教専寺住職

①

◇運営委員長 ◇産業建設委員会

②

③

◇下水工事 ◇環境衛生問題

谷川 正秀

兵庫県 尼崎市議 2期
兵庫・阪神南・正光寺住職

①

建設委員会

②

◇震災復興(特に住宅、学校等) ◇いじめ問題について

③

◇個性をのばす教育の実現に向けての取り組み ◇スーパージョイントについて ◇引き続き震災復興について

④

さらさらどきどき尼崎。あなたの視線を……あなたの街、尼崎に……

藤本 和人

兵庫県 市川町議 1期
兵庫・神崎・妙楽寺住職

①

文教厚生委員会

②

文化センター建設特別委員会委員長として、立派なものを実現するため努力

③

行財政改革

④

念仏の心を行政に反映

竺川 紹隆

島根県 金城町議 4期
山陰・福屋・浄光寺住職

①

総務常任委員会

②

③

④

小原 静也

島根県 美都町議 3期
山陰・三隅・妙蓮寺住職

① 総務常任委員会

② 議会だより編集委員長及び視察研修実行委員長として、議会情報の適正な公開と町民の議会への理解。オンブズマンの嵐の中で、議員活動としてのあるべき研修と適正な実施。いずれにしても開かれた議会、住民と一体になった議会の実行に取り組んでいる。

③

地方分権に関して、町村合併の声が聞こえる中で、町の生き残りのために予算の確保、特徴ある町政とは何なのか。町民と密着した実際のある福祉行政（シルバ・ビレッジ）の実行。

④

「愛してます美都町」「同極異路」

藤谷 一剣

島根県 匹見町議 2期
山陰・益田・蓮長寺住職

① 副議長、経済委員会

②

③

④

桜井 賢三

広島県 湯来町議 2期
安芸・佐伯奥・正向寺住職

① 建設経済副委員長

② ◇県道改良 ◇総合体育館建設 ◇社会福祉会館建設

③ 浄土真宗のみ教えを浸透させていくこと

④ とにかく、自信をもって邁進すること

藤谷 光信

山口県議 2期
山口・岩国・教蓮寺住職

① 厚生委員会

② ◇道路交通問題 ◇医療福祉問題 ◇教育（社会教育）関係

③ ◇行政改革 ◇財政問題

④ 市民の立場に立って考える

桑原 孝顕

山口県 田布施町議 7期
山口・熊毛中・龍巖寺衆徒

① 総務委員会

② 都市計画事業を通しての町の活性化

③ 右と同じ

④ お念仏の華かおる社会にしたい

久保 玄爾

山口県 防府市議 5期
山口・防府・信行寺住職

① 建設委員会

② ◇町づくり（都市開発） ◇高齢者対策

③ ◇環境問題

④ 右と同じ

公正

秋里 勝道

山口県 美東町議 4期
山口・美祢東・明楽寺住職

① 経済建設委員会

② 老人施設（特別養護）

③ 下水道事業

④

川越 証真

山口県 美祢市議 7期
山口・美祢西・西音寺住職

① 教育福祉委員会

② 人口定住化

③ 工業団地に企業の誘致

④ 宗門人としての自覚を持った議会人

荒木 行也

福岡県 高田町議 3期
福岡・三門南・阿弥陀寺住職

① 総務常任委員会

②

③ 下水道整備

④

國東 利行

大分県 宇佐市議 3期
大分・宇佐・極楽寺住職

① 文教社会常任委員会

② ◇教育問題 ◇文化財保護

③ 右と同じ

④ 多くの人の意見を素直に聞く

衛藤 龍天

大分県 久住町長 4期
大分・岡・安照寺住職

② ①

◇担い手育成 ◇土地改良事業 ◇町営
国民宿舍改築事業（150人規模）

◇地ビール工場オーブン、ゴルフ場オー
ブン（いずれも第三セクター）

③ ◇農村集落排水事業 ◇地球にやさし
いむらづくり事業 ◇グリーンツーリ
ズと都市農村交流事業

④ 一意専心、ふるさと振興のため

前原 弾邵

熊本県 深田村長 5期
熊本・球磨・善正寺住職

② ①

◇大学設置 ◇中山間地域農村総合整備
事業 ◇下水道 ◇文化財発掘、顕彰

④ ③

隈部 弘正

熊本県 菊鹿町長 1期
熊本・山鹿・光厳寺住職

② ①

◇農業集落排水事業 ◇町営住宅建設
（みどり団地）事業

④ ③

中山間山村活性化事業（広域連携型）
一隅を照らす

平成九年度

世話人会報告（第二回）

一、日時 5月28日（水）

二、場所 宗務総合庁舎3階 会議室4

三、内容 ①平成8年度事業、決算報告
②第4回海外視察（バンコク）

報告

③第5回海外視察計画について

④総会の運営について

⑤役員改選の方法について

以上

平成九年度 総会報告

一、日時 5月29日（木）

午前9時30分から正午まで

二、場所 開法会館3階 研修室1

三、開会式 ○勤行・讃仏偈 ○総長挨拶

○代表世話人挨拶

四、総会

①北島経昭総務挨拶
②議長選出 黒田昭信世話人

③平成8年度事業、決算報告
④第4回海外視察（バンコク）

報告

⑤平成9年度事業、予算案

⑥第5回海外視察計画について

10月6日（月）～10日（金）、

5日間の日程でアメリカ西海岸

岸（サンフランシスコ、ロサン

ゼルス）の視察計画を決定

⑦役員改選

代表世話人 川越証真

世話人 黒田昭信

梅津正純

永原智徳

竺川紹隆

藤谷光信

荒木行也

國東利行

会計監査 柴田薫心

花木肇正

五、講演 講演題目「仏教の生命観と移植医療」

講師 龍谷大学文学部講師・

東海学園大学教授

奈倉道隆先生

以上